

出雲市全体 業種別景況（令和3年7月～令和3年9月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年7月～9月期)の状況				今期(令和3年7月～9月期)と比べた 来期(令和3年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	Δ・I	↑	—	↓	Δ・I	↑	—	↓	Δ・I
1 売上（完成工事・出荷）額	22.4	33.5	44.1	△ 21.8	20.2	33.3	46.4	△ 26.2	29.2	45.8	25.0	4.2
2 採算（経常利益）	14.1	46.5	39.4	△ 25.3	16.1	44.0	39.9	△ 23.8	21.1	55.4	23.5	△ 2.4
3 資金繰り	5.4	72.9	21.7	△ 16.3	6.1	67.1	26.8	△ 20.7	6.1	75.8	18.2	△ 12.1
4 従業員（含 臨時・パート）	7.4	79.6	13.0	△ 5.6	11.2	67.7	21.1	△ 9.9	6.9	86.3	6.9	0.0
5 商品（製品）在庫	8.6	71.5	19.9	△ 11.3	7.9	70.9	21.2	△ 13.2	9.3	74.8	15.9	△ 6.6
6 業況（自社）	11.0	53.4	35.6	△ 24.5	12.8	50.6	36.6	△ 23.8	20.1	57.3	22.6	△ 2.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	36.4	7.0	11.3	29.6	23.9	8.5	18.3	1.4	63.6
2 来 期	34.5	3.3	16.4	34.4	13.1	9.8	19.7	3.3	65.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	51.8	10.1	4.1	9 金利負担の増加	0.0	2.0	0.8
2 新規参入業者の増加	1.2	4.7	4.1	10 代金回収の悪化	0.6	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.3	9.5	9.9	11 事業資金の借入難	1.2	0.7	2.5
4 材料（原材料）等の入手難	3.7	5.4	6.6	12 従業員の確保難	12.8	11.5	14.0
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	9.8	21.6	14.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	3.0	9.5	20.7
6 人件費の増加	4.9	10.1	9.1	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.2	4.7	5.8
7 仕入・人件費以外の経費の増加	1.8	6.8	5.0	15 その他	2.4	2.0	2.5
8 商品（製品）在庫の過剰	1.2	1.4	0.8				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年7月～9月期)の状況				今期(令和3年7月～9月期)と比べた 来期(令和3年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	25.0	50.0	25.0	0.0	12.5	58.3	29.2	△ 16.7	8.3	54.2	37.5	△ 29.2
2 採算(経常利益)	20.8	54.2	25.0	△ 4.2	16.7	58.3	25.0	△ 8.3	0.0	69.6	30.4	△ 30.4
3 資金繰り	4.2	87.5	8.3	△ 4.2	4.2	83.3	12.5	△ 8.3	0.0	83.3	16.7	△ 16.7
4 従業員(含 臨時・パート)	13.0	78.3	8.7	4.3	17.4	60.9	21.7	△ 4.3	8.7	82.6	8.7	0.0
5 商品(製品)在庫	0.0	94.4	5.6	△ 5.6	0.0	88.9	11.1	△ 11.1	0.0	88.9	11.1	△ 11.1
6 業況(自社)	8.7	69.6	21.7	△ 13.0	8.7	65.2	26.1	△ 17.4	4.5	63.6	31.8	△ 27.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	46.4	0.0	15.4	23.1	30.8	7.7	23.1	0.0	53.6
2 来期	34.6	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	11.1	65.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	25.0	14.3	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	4.8	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.2	9.5	6.7	11 事業資金の借入難	4.2	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	9.5	13.3	12 従業員の確保難	37.5	14.3	26.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	16.7	14.3	13.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	0.0	13.3
6 人件費の増加	8.3	28.6	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	4.2	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	4.8	26.7	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・従業員数が減ったが、新規雇用がすぐにできず、外注労務を頼むものの、労務単価が高いので結果的に人件費が高んでいる。
 - ・今後も同じような状況が続くと思われ、安定的にかつ人件費をおさえられる方策を思案中。
 - ・元請ではないものの公共工事の受注が増加傾向である。
 - ・コロナの影響で商品の納期に影響が出ている。
 - ・ウッドショックにより、材料入手困難であり、材料価格が上昇している。
 - ・コロナによる消費控えが、小売、サービス業はもとより建築関係にも影響している。
- 材料価格が10～15%と上昇している。材料が海外のロックダウンで入手困難となっている。

《 製 造 業 》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年7月～9月期)の状況				今期(令和3年7月～9月期)と比べた 来期(令和3年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	25.0	33.3	41.7	△ 16.7	31.4	31.4	37.1	△ 5.7	34.3	37.1	28.6	5.7
2 採算(経常利益)	22.2	38.9	38.9	△ 16.7	25.7	42.9	31.4	△ 5.7	31.4	45.7	22.9	8.6
3 資金繰り	5.7	71.4	22.9	△ 17.1	8.8	64.7	26.5	△ 17.6	2.9	85.3	11.8	△ 8.8
4 従業員(含 臨時・パート)	5.6	80.6	13.9	△ 8.3	14.3	60.0	25.7	△ 11.4	11.8	76.5	11.8	0.0
5 商品(製品)在庫	6.1	81.8	12.1	△ 6.1	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	84.4	15.6	△ 15.6
6 業況(自社)	11.8	55.9	32.4	△ 20.6	15.2	54.5	30.3	△ 15.2	17.6	61.8	20.6	△ 2.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	50.0	8.3	8.3	41.7	8.3	12.5	20.8	0.0	50.0
2 来 期	50.0	0.0	15.8	42.1	15.8	15.8	10.5	0.0	50.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	58.3	6.3	6.9	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	15.6	13.8	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	8.3	9.4	10.3	12 従業員の確保難	11.1	9.4	13.8
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	16.7	25.0	20.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	5.6	9.4	20.7
6 人件費の増加	0.0	12.5	6.9	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	3.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	9.4	0.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	3.1	3.4				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・半導体の入手困難が発生しており、生産を減らしている。12月より倍増生産を行う予定。
- ・人件費、法定福利費増の反面、収支は不変であり採算は悪化の一途をたどっている。労力を外国人に依存しており、入国出来ない状況が続いているため人件費がどうなるのか不安である。
- ・プレミアム商品券での支払いが多いためその分手間が掛る。
- ・コロナによる自動車業界の生産調整が行われている。
- ・9月中は観光客も来ていたがお土産の購入は少なかった。10月になると緊急事態宣言も終わり、お土産の購入が増えた。
- ・東南アジアのコロナ拡大と半導体不足により、納入先の車両メーカーの生産停止影響が生じており、結果として自社の受注が減っている。
- ・飲食店、土産店が不調の中、海外の出荷がまずまずで、売上減少をおさえることができた。
- ・県外出張から帰った際の自宅待機やPCR検査で、数日間仕事ができないことが会社の負担になっている。仕事の受注はきているが、半導体などの材料不足のため、納期が遅れるのを心配している。
- ・半導体不足なのか12月まで減産の予定。先行不透明。

《卸売業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年7月～9月期)の状況				今期(令和3年7月～9月期)と比べた 来期(令和3年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	25.0	31.3	43.8	△ 18.8	6.3	50.0	43.8	△ 37.5	25.0	68.8	6.3	18.8
2 採算(経常利益)	12.5	68.8	18.8	△ 6.3	18.8	56.3	25.0	△ 6.3	25.0	75.0	0.0	25.0
3 資金繰り	6.3	87.5	6.3	0.0	6.3	81.3	12.5	△ 6.3	12.5	87.5	0.0	12.5
4 従業員(含 臨時・パート)	6.3	75.0	18.8	△ 12.5	6.3	75.0	18.8	△ 12.5	6.3	93.8	0.0	6.3
5 商品(製品)在庫	6.3	56.3	37.5	△ 31.3	0.0	62.5	37.5	△ 37.5	12.5	81.3	6.3	6.3
6 業況(自社)	18.8	62.5	18.8	0.0	12.5	56.3	31.3	△ 18.8	25.0	68.8	6.3	18.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0
2 来期	13.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	86.7

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	50.0	0.0	16.7	9 金利負担の増加	0.0	12.5	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	6.3	12.5	8.3	11 事業資金の借入難	6.3	0.0	16.7
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	6.3	8.3	12 従業員の確保難	6.3	12.5	8.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	18.8	6.3	8.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	18.8	16.7
6 人件費の増加	0.0	6.3	8.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	12.5	8.3
7 仕入・人件費以外の経費の増加	6.3	6.3	0.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	6.3	6.3	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・半導体不足で商品の入荷が遅れている。
- ・観光業界、観光客の戻りが予測できないため、この先の計画立案が困難。そのため、銀行との話も厳しい。
- ・7～9月は年間で最も売上額が多い月であるが、前々年と比較すると50%の落ち込みで大変厳しい状況である。
- ・コロナでコンテナの入船が遅れがちである。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年7月～9月期)の状況				今期(令和3年7月～9月期)と比べた 来期(令和3年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	19.6	32.6	47.8	△ 28.3	17.4	23.9	58.7	△ 41.3	34.8	30.4	34.8	0.0
2 採算(経常利益)	2.1	48.9	48.9	△ 46.8	6.4	36.2	57.4	△ 51.1	23.9	39.1	37.0	△ 13.0
3 資金繰り	6.5	67.4	26.1	△ 19.6	4.3	58.7	37.0	△ 32.6	8.7	60.9	30.4	△ 21.7
4 従業員(含 臨時・パート)	9.3	83.7	7.0	2.3	9.3	79.1	11.6	△ 2.3	7.0	90.7	2.3	4.7
5 商品(製品)在庫	12.8	55.3	31.9	△ 19.1	10.6	57.4	31.9	△ 21.3	19.1	53.2	27.7	△ 8.5
6 業況(自社)	4.5	54.5	40.9	△ 36.4	8.7	47.8	43.5	△ 34.8	19.6	45.7	34.8	△ 15.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	29.6	6.3	6.3	31.3	25.0	6.3	18.8	6.3	70.4
2 来 期	36.5	10.5	15.8	36.8	5.3	5.3	21.1	5.3	63.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	54.5	17.9	3.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	2.3	10.3	9.1	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.5	7.7	3.0	11 事業資金の借入難	0.0	2.6	3.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.5	2.6	6.1	12 従業員の確保難	9.1	5.1	9.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	4.5	25.6	9.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.3	2.6	21.2
6 人件費の増加	6.8	0.0	12.1	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.3	10.3	15.2
7 仕入・人件費以外の経費の増加	4.5	7.7	3.0	15 その他	4.5	7.7	6.1
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・国道9号線前面通行止めにより影響大。また小麦粉、砂糖、油などの原材料価格の上昇により利益を圧迫しており、値上げをせざるを得ない。
また、フランチャイズのお菓子店の出店による影響も大きい。
- ・コロナの影響で相変わらず先行きが不透明。
- ・コロナで65才以上の人は外出する機会がなく、ファッションの需要が減少。消費税10%で買入意欲減退。
- ・コロナで法事、お茶会、婚礼が減少。
- ・家需要が継続して好調なカテゴリーとして生鮮食品の売上が昨比を超えている。
その反面、雑貨のカテゴリー特に衣料等ファッション系の売上昨比でダウンしています。
- ・原油上昇により採算が悪化している。
- ・ウイスキーの量り売りを開始し、売上が前年度対比30%アップ。コロナ禍だから出来る販売方法を実施していきたい。
- ・コロナ感染拡大にともない、人流の多くなるお盆に夏期休業をとったため、8月の売上が例年になく悪かった。
- ・メーカーの海外工場が停止しているため、商品が入荷できなくて困っている。
- ・商店街に人通りなく、現金売上げ激減。
- ・お出かけする人が少なく売上減少。
- ・コロナで展示会や外売を行っていく。

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和3年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年4月～6月期)の状況				前年同期(令和2年7月～9月期)と比べた 今期(令和3年7月～9月期)の状況				今期(令和3年7月～9月期)と比べた 来期(令和3年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	20.8	27.1	52.1	△ 31.3	23.4	25.5	51.1	△ 27.7	31.9	55.3	12.8	19.1
2 採算(経常利益)	17.0	38.3	44.7	△ 27.7	17.4	41.3	41.3	△ 23.9	19.6	65.2	15.2	4.3
3 資金繰り	4.4	66.7	28.9	△ 24.4	6.8	63.6	29.5	△ 22.7	6.7	75.6	17.8	△ 11.1
4 従業員(含臨時・パート)	4.5	77.3	18.2	△ 13.6	9.1	63.6	27.3	△ 18.2	2.3	88.6	9.1	△ 6.8
5 商品(製品)在庫	10.8	78.4	10.8	0.0	7.9	78.9	13.2	△ 5.3	7.9	84.2	7.9	0.0
6 業況(自社)	15.2	39.1	45.7	△ 30.4	17.4	41.3	41.3	△ 23.9	28.3	58.7	13.0	15.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	28.6	7.1	21.4	21.4	35.7	0.0	14.3	0.0	71.4
2 来期	26.1	0.0	16.7	41.7	16.7	8.3	16.7	0.0	73.9

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	59.1	7.5	0.0	9 金利負担の増加	0.0	2.5	3.1
2 新規参入業者の増加	2.3	5.0	6.3	10 代金回収の悪化	2.3	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	6.8	5.0	15.6	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	2.3	2.5	0.0	12 従業員の確保難	6.8	17.5	15.6
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	2.3	25.0	15.6	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.5	17.5	25.0
6 人件費の増加	6.8	10.0	12.5	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	2.5	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	5.0	3.1	15 その他	4.5	0.0	3.1
8 商品(製品)在庫の過剰	2.3	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・今年9月は開業以来最悪の業況。開業20年経過で施設の更新が必要であるが、先行き不透明により設備投資は難しくコロナ禍の終息が見えなければ厳しい。
- ・既存の会員様で休会が増え、売上が減少。
- ・雇用調整助成金を活用して雇用を維持している。借入追加検討中であり、好転するまで持ちこたえたい。
- ・キャンペーン(we love 山陰など)が無いと需要が停滞する。
- ・8月の第5波で、we love 山陰の停止と出雲の観光応援クーポン券の終了により、グッと客足が遠のいた。
- ・8・9月の宿泊は非常に少なかった。緊急事態宣言の解除で10月以降は予約が入りだした。宴会は相変わらず厳しい状況。
- ・七五三などで利用する地元の客の来店は好調な一方で観光客の来店は減少。
- ・店舗を予約制にした。密にならない、食事タイムがゆっくりできるなど、従業員にとって良い労働環境となった。
- ・コロナの感染予防のための消耗品代がすごく掛かる。(消毒剤、一客毎に差し上げるマスク代等)
- ・国道9号線小田地区の崩落による通行止めにより、通行量が激減。多伎地区へ行けないような風評があり、問い合わせが多くあった。